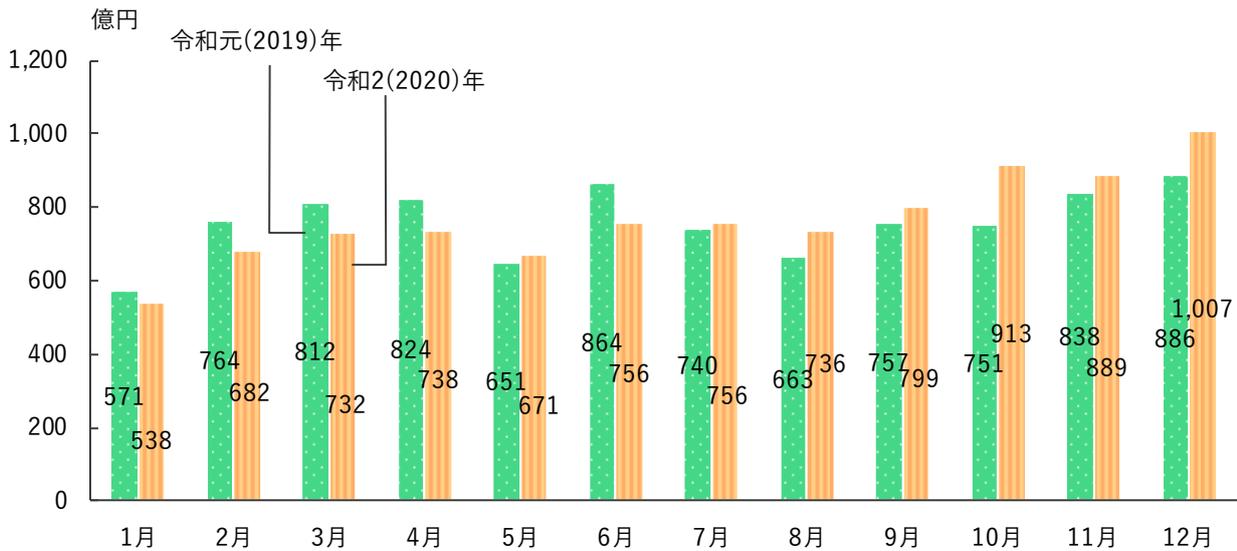


図表 特-34 月別の農林水産物・食品の輸出額



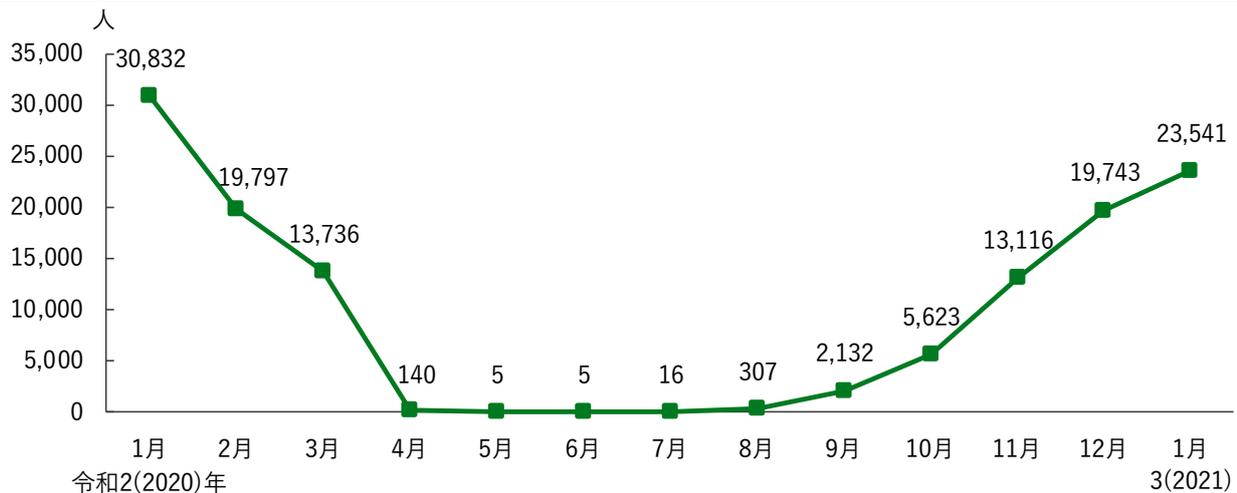
資料：財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

ウ 入国制限による影響

(入国制限により来日を予定していた外国人材が減少)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外国からの渡航者に対する入国制限措置により、令和2(2020)年4月から来日を予定していた外国人技能実習生等の外国人材の入国が困難となり、入国者数は大幅に減少しました(図表 特-35)。

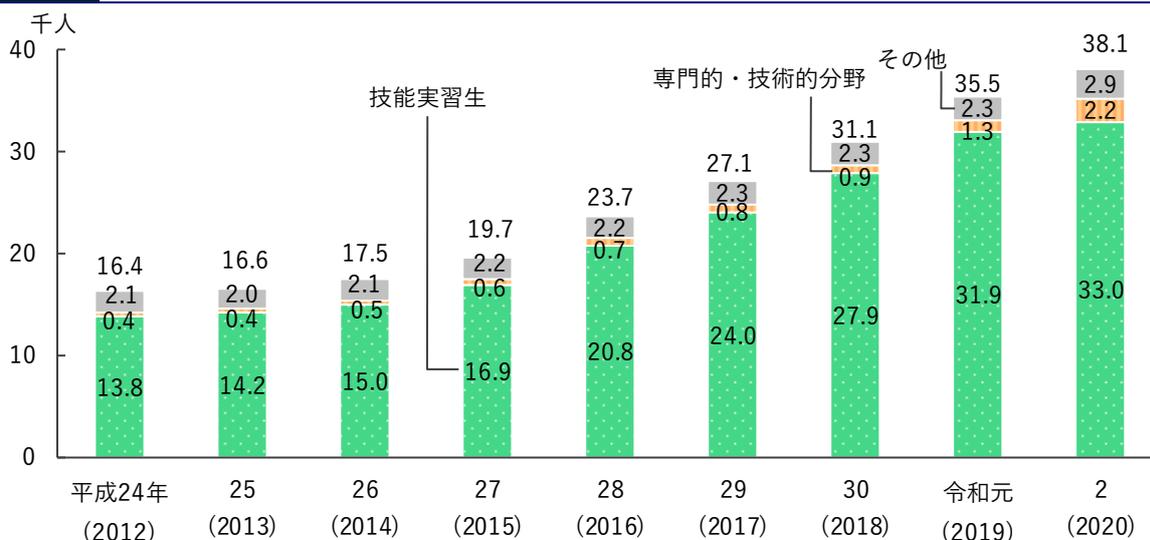
図表 特-35 外国人技能実習生の入国者数(全分野合計)



資料：出入国在留管理庁「出入国管理統計統計表(月報)」を基に農林水産省作成

令和2(2020)年10月末時点の農業分野における外国人の労働者数は、3万8,064人となっており、前年10月時点と比べ約2,600人増加しているものの、その増加率は7.2%で、前年の14.3%に比べ低下しています(図表 特-36)。このため、人手不足による農業分野への影響が懸念されましたが、他産業からの代替人材を含めた人材確保や日本にいる外国人に対する在留資格上の特例措置も踏まえ、対応が進められました。

図表 特-36 農業分野における外国人の労働者数



資料：厚生労働省「外国人雇用状況」の届出を基に農林水産省作成

注：1) 各年10月末時点

2) 専門的・技術的分野の令和元(2019)年以降の数値には、「特定技能在留外国人」の人数も含まれる。

エ 労働力確保に向けた動き

(他産業との連携により労働力を確保)

新型コロナウイルス感染症の影響により、営業自粛や客数減少等による事業活動の縮小を余儀なくされた宿泊業・飲食業等においては、多数の休業者・失業者が発生しましたが、このような中、農業経営体¹がこれらの産業からの労働者を雇用する動きが見られました。

長野県の佐久浅間農業協同組合では、地元の軽井沢旅館組合と協力し農繁期を迎えるレタス農家等の農業経営体と訪日外国人旅行者の減少や外出自粛の影響で従業員の雇用継続が困難であった宿泊施設の従業員等のマッチング支援を令和2(2020)年4月に開始しました。この取組によって、同年11月までに7人の人材が農業現場で雇用されました。

青森県弘前市では、休業を余儀なくされた旅館業や、飲食業、製造業等の休職者等と、農繁期を迎えるりんご農家等の農業経営体を、農協等と連携しマッチングを図り、雇用した農業経営体に対して、1日当たりの賃金の半額(上限3,000円)を助成する「休職者等農業マッチング緊急支援事業」を令和2(2020)年4月に開始しました。

同事業の実施により、調理師がりんご等の食材の生産に携わることができたほか、一時的な雇用から継続雇用へと進展した事例が見られるなど、副次的な効果も生じています。令和3(2021)年2月末時点での支援件数は166件、就労者数は721人となっています(図表 特-37)。

¹ 用語の解説1、2(1)を参照